

開発ステージ

研究・開発段階

導入検討段階

実用化段階

キーワード

ケミカル
リサイクル

サーキュラー
エコノミー

用途

食品包材／医療器具／化粧品容器／自動車部材 等

課題

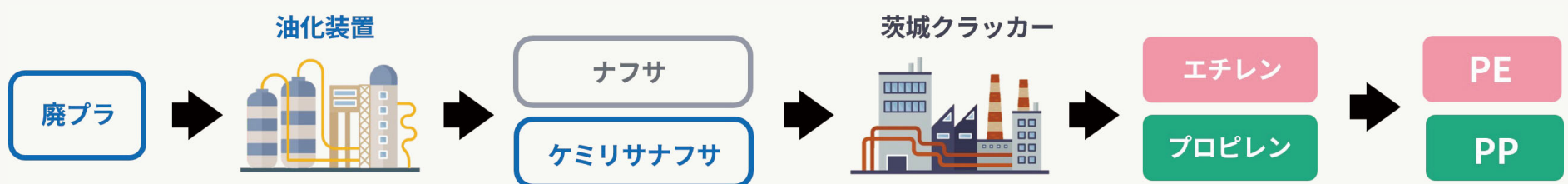
- 循環型社会の実現や各種法規制対応により、再生材の活用が求められている
- 高い安全性・衛生性・機械物性・耐久性が求められる用途においても再生材を使用したいが、マテリアルリサイクル材では性能・品質を充足できない

ソリューション

- 超臨界水技術を用いたケミカルリサイクルにより、廃プラスチックを原料レベルの油まで分解し、新品同等品質のケミカルリサイクル PE/PP として再資源化

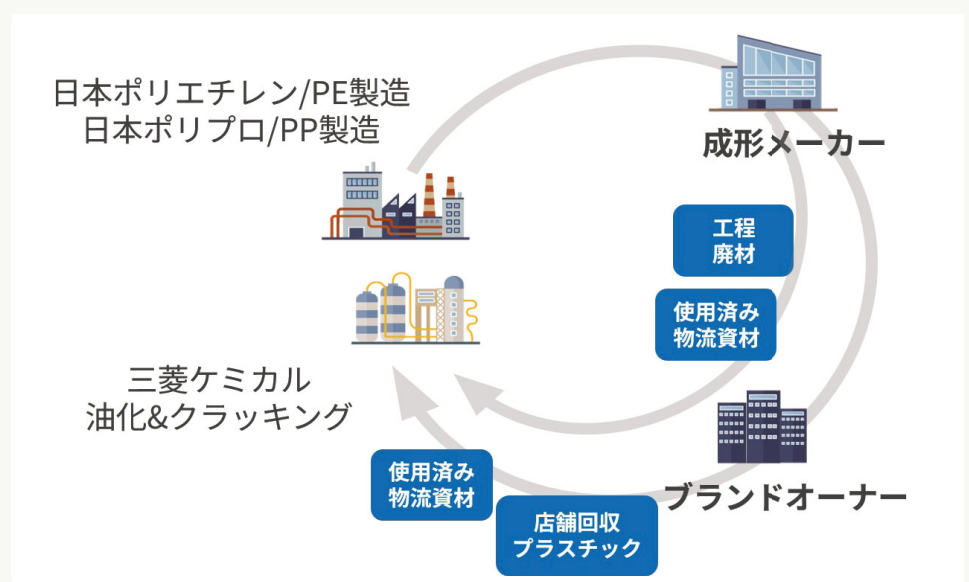
※ISCC PLUS 認証に対応したマスバランス方式で提供

※マスバランス方式とは、複数の原料（例：石油由来原料＋リサイクル原料）を混合して製品を製造する際に、使用した特定の原料（例：リサイクル原料）の割合を任意の製品へ割り当てる流通管理方式のこと



ベネフィット

- 既存設備にて精製油からケミカルリサイクル PE/PP の製造をするため、導入にあたっての性能・品質評価工程の削減が可能
- 自社製品製造までのサプライチェーンで発生する端材・廃材や使用済み自社製品の回収・再製品化のクローズドループ型資源循環の構築が可能



お問い合わせ



日本ポリエチレン株式会社



日本ポリプロ株式会社

免責事項 本資料に記載された試験結果、技術情報、推奨事項等は、弊社が蓄積した経験および実験室データに基づいて作成したもので、異なった条件下で 사용되는製品にそのまま適用できるとは限りません。従いまして、お客様の製品、使用条件にそのまま適用できることを保証するものではなく、それらの活用に関してはお客様で責任を持って判断する必要があります。弊社はいかなる場合においても、本製品を単独または他の製品と組み合わせて使用した場合の、製品への適合性及び本書に記載された用途における市場性と安全性については保証しません。